

4/19~6/15

大阪・関西万博開催記念 特別展

# 日本、美のるつぼ

—異文化交流の軌跡—

万博開催の年に、古今東西の芸術文化が混じり合いダイナミックに形づくられた日本美術の至宝が一堂に会する特別展を開催します。弥生・古墳時代から明治期までの絵画、彫刻、書跡、工芸品など約200件の文化財で異文化交流の軌跡をたどります。



国宝 風神雷神図屏風 俵屋宗達筆 京都・建仁寺所蔵(通期展示)



富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 葛飾北斎画  
山口県立秋美術館・浦上記念館所蔵  
(4月19日~5月18日展示)  
※5月20日からは和泉市久保物記念美術館所蔵品を展示)

特別展  
—会場—  
平成知新館

特集展示

—会場—  
平成知新館  
1F-2~6

7/8~8/24

特集展示

## 新収品展

京都国立博物館では毎年、展示や研究に活用するため、美術品・文化財を計画的に購入しています。また、個人の方からの厚意により、作品を寄贈いただくこともあります。今回の新収品展では、2024年度までに当館が新たに収集した美術品・文化財のなかから、さまざまな分野の名品約50件をご紹介します。室町幕府に重用された15世紀の画僧 周文筆と伝わる「山水図 江西龍派・心田清播賛」など、必見の作品が目白押しです。

重要美術品 山水図(部分)  
京都国立博物館所蔵  
江西龍派 心田清播賛 伝周文筆



特集展示

—会場—  
平成知新館  
2F-2-3

7/8~8/24

修理完了記念 特集展示

## 重要文化財 釈迦堂縁起

京都・清凉寺(嵯峨釈迦堂)が所蔵する「釈迦堂縁起」(重要文化財、6巻)は、同寺の本尊である釈迦如来立像の由来などを色鮮やかに描いた絵巻物で、狩野派の第2代・元信の作と考えられています。この度、朝日新聞文化財団の助成を受け修理が完了したことを記念し、全巻を一挙公開します(会期中、巻替あり)。



重要文化財 釈迦堂縁起  
巻第三部分(京都清凉寺所蔵)  
(この場面は8月5日~24日展示)

9/20~11/16

特別展

# 宋元仏画 —蒼海を越えたほとけたち

宋元仏画とは、中国の宋と元の時代に制作された仏教絵画のことをいいます。平安時代後期から鎌倉時代を中心にもたらされた宋元仏画には、中国の絵画史上でも特筆される、きわめて高い水準を持つものが多く含まれています。本展では、国内に所蔵される宋元仏画をあつめ、制作された当地の文脈に照らしながら、それぞれの特色をご紹介します。

国宝 観音猿鶴図のうち観音  
(10月21日~11月16日展示)



国宝 孔雀明王像 京都仁和寺所蔵(9月20日~10月19日展示)

特別展  
—会場—  
平成知新館

12/16~1/25

新春特集展示

## うまづくし—干支を愛でる—

新春恒例、干支がテーマの特集展示です。2026年の干支、午(馬)にちなんで、美術の中の馬が大集合します。子どもから大人まで、幅広い層に楽しんでいただける展示です。



重要美術品 唐三彩馬俑 錢高衣子氏寄贈 京都国立博物館所蔵

特集展示

—会場—  
平成知新館  
2F-1~3

2/7~3/15

特集展示

## 雛まつりと人形

関西地方で流行した華やかな御殿飾り雛を中心に、各種の雛人形とさまざまな京人形を紹介する恒例の展示です。

特集展示

—会場—  
平成知新館  
2F-4-5

特集展示

—会場—  
平成知新館  
1F-2

12/16~2/1

特集展示

## 光琳かるたと小西家伝来尾形光琳関係資料

当館に新たに寄託された「小倉百人一首歌留多」は、尾形光琳が手掛けた小倉百人一首かるたとして名高く、「光琳かるた」の愛称をもって知られています。この光琳かるたと、その画稿を含む当館所蔵の光琳関係資料をあわせて展示し、光琳芸術の基層とも言うべきこれらの資料の魅力と重要性を紹介します。



小倉百人一首歌留多 尾形光琳筆



立雛 次郎左衛門頭 入江波光コレクシヨ  
入江波光氏寄贈 京都国立博物館所蔵

※出展作品および展示期間は、都合により変更される場合があります。



# 京都国立博物館 年間スケジュール KYOTO NATIONAL MUSEUM Exhibition Schedule 2025.4 — 2026.3

## 音声ガイド

平成知新館名品ギャラリーでは、音声ガイド(有料)をお楽しみいただけます。日本語、英語、中国語、韓国語のほか、ジュニア版も4か国語でご用意しています。

## 講堂〈シアター〉

平成知新館地下1階の講堂では、収蔵品に関する特別番組を、350インチの大画面でご覧いただけます。また、上方落語の上演や、コンサートなどの有料のイベントも行っています。上映予定や、イベント詳細については、随時ウェブサイトをご確認ください。

## 関連講座など

平成知新館講堂では、展覧会や展示作品に関連した講座を随時行っています。講座の予定は、ウェブサイトや博物館だよりなどでお知らせします。

## 夏期講座

さまざまな分野の研究者が一つの共通のテーマに沿って、最新の研究成果を盛り込んだ発表を行う集中講座を、毎年夏に開催しています。今年度は「国宝再考」というテーマで8月1日(金)・2日(土)に行います。1日3講、計6講座です。

\*定員200名、有料、要事前申込。  
会場：平成知新館 講堂

表紙：布袋図(部分) 伝牧谿筆 京都国立博物館所蔵  
(特別展「宋元仏画—蒼海を越えたほとけたち」にて展示)



## ご利用案内



開館時間 9:30～17:00 金曜日は20:00まで開館

※入館は各閉館の30分前まで。  
詳しくはウェブサイトなどをご覧ください  
特別展期間中は開館時間が変更されることがあります

名品ギャラリー 〈平常展示〉 観覧料	一般	700円	高校生以下および 満18歳未満、満70歳以上、 障害者とその介護者1名、 キャンパスメンバーズ(含教職員) ※すべて要証明	無料
	大学生	350円		

※特別展については、そのつど定めます。  
また、特別展期間中、名品ギャラリーは休止します。  
※名品ギャラリー展示室は、展示作業などのため、一部閉室となる場合があります。詳しくはウェブサイトなどをご覧ください。

休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館し、翌火曜日休館)

全館休館 4月18日(金)、9月19日(金)、  
12月29日(月)～2026年1月1日(木祝)

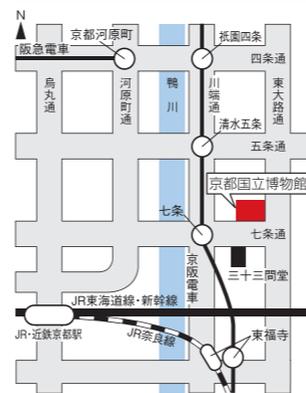
※都合により臨時休館する場合があります。  
随時ウェブサイトなどお知らせします。

名品ギャラリー 休館日	3月25日(火)	～	4月17日(木)
	6月17日(火)	～	7月6日(日)
	8月26日(火)	～	9月18日(木)
	11月18日(火)	～	12月14日(日)
	2026年3月24日(火)	～	4月16日(木)

名品ギャラリー休館期間は、下記の料金にて庭園の屋外展示をご覧いただけます

一般	300円	高校生以下および 満18歳未満、満70歳以上、 障害者とその介護者1名、 キャンパスメンバーズ(含教職員) ※すべて要証明	無料
	大学生	150円	

※有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がございます。



ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております

## 京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 TEL 075-525-2473 (テレホンサービス)

https://www.kyohaku.go.jp/ 公式X・Instagram @KyotoNatMuseum

一般社団法人 清風会の支援を受けて作成しました 2025年2月

## Museum Map

### 京都国立博物館マップ



## 平成知新館

設計はニューヨーク近代美術館新館、東京国立博物館法隆寺宝物館などを手掛けた谷口吉生氏。日本的な空間構成を取り入れた直線を基調とする展示空間には、陶磁・考古・絵画・書跡・工芸・彫刻といった分野ごとに展示室が設けられています。各展示室ではさまざまなテーマのもと、館蔵品・寄託品を取り交えて展示しており、京文化の粋をお楽しみいただけます。作品保護のため1か月～1か月半ごとに展示替えを行っているため、足を運ぶたびに新しい作品との出会いがあります。

## 明治古都館(重要文化財)

当館のシンボルともいべきレンガ造りの建物。設計者は迎賓館赤坂離宮(旧東宮御所)なども設計した、日本で唯一ともいえる宮廷建築家の片山東熊。ヨーロッパの華麗なバロック様式を取り入れながら、東山の自然に調和した美しい景観を作り出しています。玄関の上にある三角形の破風には、仏教世界の美術工芸の神とされる毘首羯磨と伎芸天の像が彫刻されています。昭和44年(1969)に表門、札売場および袖塀とともに国の重要文化財に指定されました。免震改修等の基本計画を進めるため、現在展示は行っておりません。

## 茶室 堪庵

昭和33年(1958)に上田堪一郎氏より寄贈された、金森宗和好みの真珠庵「庭玉軒」を写したとされる数寄屋造りの茶室です。内部をご覧いただけるほか、茶会などにもご利用いただけます(茶室利用は有料、要予約)。